

1月号他ページの主な記事
2面 新春清談 御講有大いに語る 3面 講尊・日裔上人の新春放談
4面 講尊・日裔上人の新春清談 5面 木村宗務総長 年頭の挨拶
6面 講尊・日裔上人の新春清談 7面 平成25年度宗務方針 本山奉仕 壮年の部
特集：講有巡教ご親教盛大に！
8面 第201回臨時宗会を開催
9面 韓国弘通100年のあゆみ②
10面 2支・義天寺 日映上人17回忌、5支・東京中央布の子ども御会式
11面 東日本大震災「プロジェクト7」京都布教区が激励助行
12面 門祖日隆聖人物語⑬、5支修学塾が福泉寺にて支援助行

本門佛立宗機関紙
佛立新聞
THE BUTSURYU SHIMBUN

平成25年1月1日発行
発行所
本門佛立宗務本庁
京都市上京区御前通一条上る東野町110番地(〒602-8377)
電話(075)461-1166(代)
振込口座 京都 18650
発行人 澤田日松 / 編集人 橋口清遠
購読冥加料 一部 50円

ご生誕200年へ異体同心でご奉公を



ご就任後、最初の新春を迎えられた第二十五世講有・日開上人

宗門人の皆さん、新年明けましておめでとうございませう。
ともに門祖日隆聖人五五〇回御遠諱御正當の年をお迎えできましたことを大変うれしく思います。
また、本年は平成二十九年(二〇一七年)にお迎えする開導日扇聖人のご生誕二〇〇年に向かう慶讃ご奉公「佛立開花運動」が始まる年でもあります。
宗門は昨年までの三カ年にわたる報恩ご奉公として「佛立菩薩を育てる運動」を進めてまいりました。
昨年八月に開催された本山でのプレ法要には国内外より若き佛立菩薩が参詣して第四回青少年の一座が盛大に勤まり、後継者育成に向けて確かな成果を挙げました。
この春に本山で奉修される大法要は、ご奉公の御礼を奉告される方々の参詣により賑やかに勤まることを楽しみにしております。

私は昨年七月の遺囑伝承の日より、更なる宗門の発展を願い、昼夜を分かたず御題目口唱に励んでいます。
しかし、私達の眼前には地震や異常気象、諸国の紛争や経済危機など悪世末法の事象が地上の至る所に現れています。
さればこそ、浄佛国土の実現を使命とする我われの責務は重大です。
妙法弘通には教務と講務が異体同心となり、不断の精進を重ねなくてはなりません。かつて、阪神の大地震では宗内寺院と教

御講有 年頭のごとば

僧俗相携えての異体同心のご奉公の賜であり、これを後進に繋ぎ、将来に向かってのご弘通を進めなくてはなりません。
高祖大士は御妙判に「異体同心なれば万事を成じ、同体異心なれば諸事叶ふ事なし(乃至)日蓮が人類は異体同心なれば、人人すくなく候へども大事を成じて、一定法華経ひろまりなんと覚へ候。」
この御意を体し、我ら佛立教講は開導聖人ご生誕二〇〇年という新たな目標に向かい、異体同心のご奉公に邁進すべきことを示し、年頭の言葉といたします。
御教歌に
講中をたがひにす、めはげまして
御恩報じの奉公をせよ
(九五九 扇全九卷一五三頁)
平成二十五年元旦
本門佛立宗 第二十五世講有 日開 御印

今年(平成25年)の主な宗門行事予定

◆門祖日隆聖人五五〇回御遠諱 御正當法要	2月23、24日
◆第二〇二回定例宗会	3月6、8日
◆第二十二回研究発表大会	3月27日
◆教員研修会	3月27、28日
◆本山宥清寺・門祖会(寺内奉修)	4月21日
◆門祖日隆聖人五五〇回御遠諱 記念大法要	4月27、29日
◆佛立第十八世講有日地上人二七回御忌	5月4日
◆第二〇三回臨時宗会	7月10、11日
◆本山宥清寺・開導会	7月14日
◆本山奉仕(弘通担当者の部)	9月14、16日
◆第二〇四回臨時宗会	9月20日
◆平成二十五年度叙任式	10月12日
◆本山宥清寺・高祖会	10月13日
◆佛立第二十二世講有日慶上人十三回御忌	10月22日
◆本山奉仕(婦人の部)	11月19、21日

一言
先月五日、突然の訃報に驚きを隠せなかつた。五十七歳の若さでこの世を去つた中村勘三郎氏は、十八代目の名跡に安座することなく一層の輝きを放つ生き方を貫いた。江戸の歌舞伎がそうであったように新しいものを歌舞伎に取り入れつつ、その伝統をしっかりと守つていきたいと、常に革新的な歌舞伎を作り上げ、時に型破りな役者と評されることもあつた。しかし、型を破るには、まず、その型を知らなければ破ることはできない。氏がそうであつたように、中村屋が継いできた伝統と教を、厳しく長い鍛錬の末に身と心に染め付ければこそできた数々の挑戦だつた。温厚で人に喜んでもらえることを旨とした氏が、歌舞伎を壊していると思つた人物に血相を変えて抗議した逸話からも、伝統と革新の間一人一倍悩みそれでも前に進むとあえて猛心を奮い起こしていたであろうことは想像に難くない。信心でも守るべき大事なものがあつた。お祖師さまによつて世に弘められ、脈々と伝えられてきた教の筋なくして信心は成り立たない。その要を宗門を挙げて学ばせていただいた過去三カ年であつた。そして、迎えた門祖五五〇回御遠諱の御正當年。今こそ、佛立の伝統と教をしっかりと心にいたし、一同が勇猛心を奮い起こし新たな挑戦と工夫を続け、一層輝きを放つ佛立宗の次代を切り開いていかねばならない。

若水(元旦に汲む水)をお天目とお供水に供え、真白きお鏡餅・御戒壇へのお雑煮・献華の松竹梅等で荘厳された、我が家の御宝前に本年のご奉公をお誓いしましょう。元旦初詣りは所属寺院へ家族そろつて詣りましょう。
6日 寒参詣開始
年の初めの大切な参詣です。
高祖日蓮大士、佐渡在島三年、身延在山九年の極寒耐乏のご生活を偲び奉り、教化弘通信心増進、身心鍛練の寒修行に頑張ろう。
12日 開講記念日
安政四年(一八五七)、佛立開導日扇聖人は旧本門法華宗内から改革の火の手をあげて、生ける人々のための生きた仏教として当宗を開講せられた日。佛立の名が示すように、久遠本佛以来の血脈法水が吾が宗の中に清く流れている。
14日 成人の日
昭和二十三年制定された国民の祝日。体格は向上しても人間としての進歩がなければ、まだ少年期。佛立青年は身心ともに成長した立派な宗門人、社会人でありたい。
24日 本月初灯明料奉納式
年ごとに奉納額が上昇してきたものが、この数年は停滞気味です。
本年も、本月初灯明料の奉納式が二十四日、本山御宝前にて執行されます。
宗内全信者は志を篤くして、ご奉納させていただきます。

1月のこよみ

1日	元旦会
4日	宗務本庁御用始め
6日	平成二十五年寒参詣開始
12日	開講記念日
14日	成人の日(成人御礼言上式)
24日	本月初灯明料第一回奉納式

元旦 新しい年の若水
若水(元旦に汲む水)をお天目とお供水に供え、真白きお鏡餅・御戒壇へのお雑煮・献華の松竹梅等で荘厳された、我が家の御宝前に本年のご奉公をお誓いしましょう。元旦初詣りは所属寺院へ家族そろつて詣りましょう。
6日 寒参詣開始
年の初めの大切な参詣です。
高祖日蓮大士、佐渡在島三年、身延在山九年の極寒耐乏のご生活を偲び奉り、教化弘通信心増進、身心鍛練の寒修行に頑張ろう。
12日 開講記念日
安政四年(一八五七)、佛立開導日扇聖人は旧本門法華宗内から改革の火の手をあげて、生ける人々のための生きた仏教として当宗を開講せられた日。佛立の名が示すように、久遠本佛以来の血脈法水が吾が宗の中に清く流れている。
14日 成人の日
昭和二十三年制定された国民の祝日。体格は向上しても人間としての進歩がなければ、まだ少年期。佛立青年は身心ともに成長した立派な宗門人、社会人でありたい。
24日 本月初灯明料奉納式
年ごとに奉納額が上昇してきたものが、この数年は停滞気味です。
本年も、本月初灯明料の奉納式が二十四日、本山御宝前にて執行されます。
宗内全信者は志を篤くして、ご奉納させていただきます。